

ネイティブ バチルス・ステアロテルモフィルス ポリヌクレオチド ホスホリラーゼ

Cat. No. NATE-1908

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 ポリヌクレオチドホスホリラーゼ (PNPase) は、リン酸加水分解的な3'から5'エキソリボヌクレアーゼ活性と3'-末端オリゴヌクレオチドポリメラーゼ活性を持つ二機能酵素です。また、細菌、植物、ヒトにおけるmRNAの処理と分解にも関与しています。

用途 その酵素はポリリボヌクレオチドの調製に役立ちます。

別名 PNPase; ヌクレオシド二リン酸:ポリヌクレオチジル転移酵素; ポリリボヌクレオチドヌクレオチジル転移酵素; ポリヌクレオチドホスホリラーゼ; ポリリボヌクレオチドホスホリラーゼ; EC 2.7.7.8; 9014-12-4

製品情報

由来 バチルス・ステアロテルモフィルス

外形 凍結乾燥された

EC番号 EC 2.7.7.8

CAS登録番号 9014-12-4

分子量 300,000 - 340,000; Subunit molecular weight : ca. 85,000.

比活性 2,000 U/mgタンパク質以上

等電点 4

pH安定性 9.0 - 11.0

最適pH 9.0 - 9.5

熱安定性 55 °Cまでの活動の減少は観察されませんでした。

ミカエリス定数 (38 mM Tris-HCl バッファー、pH 9.5、60 °C にて) ポリA: 0.27 mM^{**}; KH₂PO₄: 3.0 mM; ^{**}ポリAの濃度はAMP濃度として計算されました。

単位定義 1単位の活性は、ポリAの脱重合によって60°Cで1時間あたり1μmolのADPを生成するPNPaseの量として定義されます。

反応 $\text{RNA}_{n+1} + \text{Pi} \leftrightarrow \text{RNA}_n + \text{ヌクレオシド二リン酸}$

備考 エフェクター: カチオンとアニオン。

保管・発送情報

保存方法 -20 °Cで少なくとも1年間安定しています。